

報道関係者 各位

令和6年6月21日（金）

【照会先】

労働基準部安全課

安全課長 鈴木 基義

主任安全専門官 大橋 勝義

電話 052(972)0255

安全と環境を両立した対策を愛知労働局長がパトロール

愛知労働局（局長 ^{あべみつる}阿部 充）は、全国安全週間（7月1日～7日・既報）を迎えるに当たって、令和5年度愛知労働局長優良賞を受賞した事業場をパトロールし、その内容を公開します。

記

1 日 時

令和6年7月1日（月）午前9時40分から午前11時00分まで
（午前9時30分までにご参集をお願いします。）

2 パトロール対象事業場

事業場名 三菱重工サーマルシステムズ株式会社
所在地 清須市西枇杷島町旭3丁目1番地

3 実施内容

- （1）リフトを使用した作業への変更で作業位置を作業者に合わせて調整できる現場を確認
- （2）ボイラーからヒートポンプチラーへの設備変更で排熱を利用した冷房とカーボンニュートラルを実現した現場を確認
- （3）自社制作の指差呼称訓練装置を使用した教育を確認

愛知労働局長 全国安全週間パトロール 取材要領

1 日時と集合場所等

- (1) 日 時 令和6年7月1日(月)
午前9時30分から11時00分
- (2) 集合時間・集合場所
午前9時30分
三菱重工サーマルシステムズ株式会社 正門(南側より入場)【別紙2をご参照ください。】
- (3) 施設敷地内に駐車場はありますが、台数に限りがございます。駐車場を希望する場合は、「取材連絡票」に駐車場〇台希望と記載してください。

2 パトロール取材の具体的な行程

- (1) 9時40分～
取材受付及び取材留意点の説明
- (2) 9時50分
工場のパトロールを開始。**公開開始**
工場担当者より、作業の身体的負荷を軽減した現場、装置の排熱を利用した熱中症対策の現場等を説明。
※パトロール終了後、愛知労働局、三菱重工サーマルシステムズ(株)の職員が質問に対応させていただきます。
- (3) 11時00分
取材対応終了。

3 取材に当たっての注意事項

- (1) パトロール中においても通常の作業は行われておりますので、業務に支障が生じないよう、ご配慮をお願いします。
- (2) 服は、動きやすい服装、靴は安全靴または運動靴等の歩きやすい靴としてください。
ハイヒールやサンダルなどの履物は安全確保の観点からご遠慮ください。
- (3) 帽子の装着をお願いします。(帽子は当局で用意します。)
- (4) 取材・撮影箇所については、事業場担当者の指示に従ってください。撮影禁止区域での撮影等はご遠慮ください。

4 取材希望連絡について

現場の受入体制調整のため、6月28日(金)16時までに、別紙1「取材連絡票」の項目について、メール等により連絡をお願いします。

なお、ご不明な点がございましたら担当までお問い合わせ下さい。

(担当：労働基準部安全課 主任安全専門官 大橋 電話 052-972-0255)

愛知労働局 安全課 あて

取材連絡票

(7月1日の愛知労働局長パトロール)



連絡・報告先

〒460-8507

名古屋市中区三の丸 2-5-1

愛知労働局 労働基準部 安全課

メール：anzenka-aichikyoku@mhlw.go.jp

F A X : 052-972-8574

担 当：主任安全専門官 大橋

① 報道機関名 _____

② 取材にこられる人数 _____ 人

③ 駐車場利用希望の有無
有 (台数) _____ 台、 無

④ そのほか、連絡事項、要望事項

⑤ ご担当者ご芳名及び連絡先
ご 芳 名 _____
連絡先電話番号 _____

事業場 三菱重工サーマルシステムズ株式会社

所在地 清須市西枇杷島町旭3丁目1番地



全国安全週間
(7.1~7.7)

安全と環境の 両立した対策をパトロール

職場環境改善・製品の品質改善が、労働災害防止対策につながる改善事例を愛知労働局長がパトロールし、その様子を公開します。



ぜひご参加
ください！



協力
三菱重工サーマルシステムズ株式会社



安全経営あいち®

リスクアセスメントを通じPQCDSMEはひとつにできる。

全国安全週間（7.1～7.7）の期間中に、
令和5年度愛知労働局長優良賞を受賞した事業場において、
洗浄設備の排熱を空調に活用し、カーボンニュートラルと職場環境の改善を両立した改善事例などを愛知労働局長がパトロールします。

パトロールの様子取材いただけます。

- 令和6年7月1日（月）9時30分（集合）

洗浄温度の改善でヒートポンプチラーの排熱を冷房
に活用し、カーボンニュートラルに貢献
(安全と環境を同時に対策)

夏場はヒートポンプチラーの
廃熱（冷風）を利用した冷房
で熱中症対策も実現



リフターで作業位置を調整し、
トルクレンチの自動調整で腰痛
予防と品質の向上を実現
(安全と品質を同時に対策)

自社製作の指差呼称訓練装置で教育
(安全と作業性を同時に対策)

お待ち
しています

